

会 議 録

会 議 名	令和 8 年度第 1 回小金井市芸術文化振興計画推進委員会		
事 務 局	市民部 コミュニティ文化課		
開 催 日 時	令和 8 年 7 月 2 日（木） 1 8 時 3 0 分～ 2 0 時 3 0 分		
開 催 場 所	小金井市民会館 A 会議室		
出 席 委 員	田中真実 委員長 中村美帆 副委員長 國分ひろみ 委員 小林 勉 委員 田栗 浩 委員 西村徳行 委員 原田隆司 委員 福沢政雄 委員		
欠 席 委 員	中原和樹 委員		
事 務 局 員	1 小金井市 コミュニティ文化課長 伊藤崇 コミュニティ文化課係長 兼堀義信 コミュニティ文化課主任 武田麗子 2 事業実施者 特定非営利活動法人アートフル・アクション		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	2 人
会 議 次 第	1 令和 7 年度事業報告 2 評価について 3 その他		
会 議 結 果	別紙のとおり		
会 議 要 旨	別紙のとおり		
提 出 資 料	別紙のとおり		

1 令和7年度事業報告

アートフル・アクションから令和7年度事業報告

(1) まちはみんなのミュージアム(新規事業)

令和7年8月21日～23日実施@小金井 宮地楽器ホール（総計723名参加）
計画の基本理念「みんなで 誰もが 芸術文化を楽しめるまちへ」の実現に向け、様々な背景のある人が入り混じって楽しめる芸術文化のおまつりを開催

計画の基本施策1～3の要素を包括する事業内容

これまでのアートフル・アクションの実施プログラムに加え、市内外で様々な活動を実施してきた個人や団体の方々と共に企画運営委員会を編成して協働の形を取り、芸文計画後期に向けた連携体制の整備を行った。

(2) タズネル（3年目）

全10回開催（最大9名参加）

この街で暮らす喜び、気づき、あるいは困りごとなどを通じ、今後のこの街での暮らしのビジョンを語り合い、互いに働きかけあう場を作ることがを目的に、多様な視点に気づき、表現に繋げるワークショップ

各参加者が関心のあるテーマについて市内等でリサーチをし、最終回ではそれぞれの表現方法で発表を行った。

(3) 0・1歳児と保護者のための芸術文化体験

ここ数年継続して実施

「まちはみんなのミュージアム」内で一プログラムとして実施

小金井市で0歳から芸術文化体験ができるというところを目指す。

体をほぐしながら心もリラックスして、子どもとのコミュニケーションや遊びのヒントにもなったという意見をいただいた。

(4) えいちゃんくらぶ（8年目）

10回の開催に加え、えいちゃんふえす、えいちゃん上映会を開催。

映像を軸にしてシニアと様々な世代が交流することを目指している。

芸文推進事業としては令和7年度で終了

今後はコミュニティとしての自立を目指し、これまで育んできたネットワークや経験を活かしながら、市内外の有志による任意の自主活動を目指していく。

(5) 委員からの主な意見

- ・タズネルのように、目標もなく、結果も求めない、どんなやり方でも良いというやり方が、参加者の心に刺さっているように感じる。今後もぜひ継続してほしい。
- ・まちはみんなのミュージアムは、ガラス越しに見てふらっと立ち寄れる催しなのがよかった。ただ、その分流動的な参加者を集計できていないことは惜しく感じる。
- ・小金井市芸術文化振興計画の市民の認知度が低い。市報等で大きく打ち出してはどうか。

2 評価について

(1) 事務局説明

前回委員会での意見を踏まえ、提言書案を作成

別紙1「第2次小金井市芸術文化振興計画の進捗状況」は微修正

別紙2「第2次小金井市芸術文化振興計画（後期）に向けて」は新規に作成

下記3点の項目をテーマとしてあげ、後期への提言とした。

①市内の芸術文化活動及び市民団体等の活動に係る情報収集

②つなぎ手、中間支援機能の重要性

③多主体で担う中間支援機能

(2) 委員からの主な意見

- ・市内の市民文化活動の把握ができていないことを記載した方が良いのではないかな。
- ・文化活動の情報が一覧できるプラットフォームが必要ではないかな。
- ・小金井市民は活発に活動しているが、小金井にはホールが一つしかない。活動場所についても検討が必要ではないかな。

委員からの意見を参考に、事務局・委員長・副委員長で整理し、提言を提出する。

3 その他

アートフル・アクションから令和8年度「まちはみんなのミュージアム」について説明